

(様式7)

事業計画書目次

[瀬谷 区]

3款 2項 1目 自主企画事業費

(単位：千円)

計画書頁	事業名	令和5年度		令和4年度		増△減(5-4)		新規・拡充
		総額	一財+市債	総額	一財+市債	総額	一財+市債	
1	災害等対策事業	10,992	10,992	11,493	11,493	△ 501	△ 501	
2	まちの安全支援事業	4,326	4,326	5,406	5,240	△ 1,080	△ 914	
3	食の安全と動物愛護等推進事業	764	764	794	794	△ 30	△ 30	
4	まちづくり推進事業	5,725	5,725	6,406	6,406	△ 681	△ 681	○
5	環境行動推進事業	2,326	2,326	2,591	2,591	△ 265	△ 265	
6	瀬谷区3R夢推進事業	1,355	1,355	1,355	1,355	0	0	
7	健やか瀬谷っ子事業	5,907	5,877	6,143	6,113	△ 236	△ 236	○
8	未来を拓け!瀬谷っ子事業	4,849	4,849	8,207	8,207	△ 3,358	△ 3,358	
9	青少年育成支援事業	2,069	2,069	2,152	2,152	△ 83	△ 83	
10	児童虐待防止対策事業	2,223	2,223	1,879	1,879	344	344	○
11	健康せや推進事業	3,946	3,946	3,302	3,302	644	644	○
12	高齢者等地域拠点支援事業	510	510	510	510	0	0	
13	障害者地域生活支援事業	1,430	1,430	1,430	1,430	0	0	
14	地域福祉保健計画推進事業	2,350	2,350	2,294	2,294	56	56	○
15	地域包括ケア推進事業	1,364	1,364	1,406	1,406	△ 42	△ 42	
16	区民活動支援事業	13,201	13,201	11,586	11,586	1,615	1,615	○
17	瀬谷シティプロモーション事業	8,288	8,288	4,903	4,903	3,385	3,385	○
18	瀬谷の魅力発信・愛着実感事業	4,732	4,732	4,708	4,613	24	119	
19	瀬谷フェスティバル	7,900	7,900	7,900	7,900	0	0	
20	商工業元気アップ事業	3,837	3,837	3,905	3,905	△ 68	△ 68	
21	窓口サービス向上事業	4,112	4,112	3,585	3,585	527	527	○
22	広報・広聴連携事業	1,813	1,513	1,932	1,872	△ 119	△ 359	
	計	94,019	93,689	93,887	93,536	132	153	

事業区課	瀬谷区	総務課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	防犯・防災・安全対策費	1	目	枝番号	
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目	枝番号	前年度事業名称
事業名称	災害等対策事業		政策番号		政策指標	実施番号

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和5年度	10,992					10,992
令和4年度	11,493					11,493
増△減	△ 501	0	0	0	0	△ 501

歳出	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算 事業費	11,253	11,567	12,011	10,992	10,992	10,992
市債＋一般財源	11,253	11,567	12,011	10,992	10,992	10,992
決算 事業費	12,300	13,073	16,442			
市債＋一般財源	12,300	13,073	16,442			

事業概要	瀬谷区民の自助・共助意識の向上に取り組み、災害発生時の被害軽減を図ります。また、区本部運営の機能強化のため、本部運営体制及び災害時医療体制の整備・強化に取り組むとともに、災害対策用物品を充実させ、危機への迅速・適切な対応を図ります。							
事業開始年度	平成22年度							
根拠法令・方針決裁等	災害対策基本法、水防法、土砂災害防止法、横浜市震災対策条例、横浜市危機管理指針、横浜市防災計画、横浜市地震防災戦略、瀬谷区防災計画 等							
運営方針等との関連	瀬谷区運営方針 目標達成に向けた施策「安全・安心のまちづくり」							
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	<ul style="list-style-type: none"> ●地域防災関係事業について 令和5年は関東大震災が発生してから100年の節目です。いつ発生してもおかしくない災害に備えて、日頃からの意識啓発に加え、地域防災拠点の訓練等においても、若年層をはじめとする担い手の育成や正確な災害情報の伝達が求められています。 ・体験型プログラムや地域防災総合講座を開催することにより、若年層をはじめ、区民全体の防災意識向上を図るとともに、過去の大きな災害を忘れないようにするため、災害に対する啓発の機会を創出します。 ・地域防災拠点運営を円滑に実施するため、地域、学校及び区役所が平時より連携して訓練等を実施します。また、感染症対策用物資を含め、必要な物品を整備します。 ・区民へ迅速かつ正確な災害情報を伝達するため、防災スピーカー及びリアルタイム浸水警報装置を運用します。 本事業は、各取組を通じて、若年層をはじめ、区民全体の防災意識の向上につなげ、災害発生時の被害軽減を目的としています。 ●災害時医療体制整備事業について ・災害時に区と医療関係者が迅速・的確に連携し、区民が重症度に応じた医療を受けられる体制を整備します。 ・平時から区民に災害時医療体制や自助・共助について啓発を図り、災害時に適切な行動をとれるようにします。 ●区本部運営関係事業について 区本部運営において、災害対応にあたる区職員の防災対応力の向上が求められています。 ・震災対応や近年激甚化する風水害対応への備えとして、訓練の実施や物品の整備を実施し区本部機能を強化します。 ・新型コロナウイルス感染症が長期化するなか、区庁舎や避難(場)所の感染症対策を継続して実施します。 本事業は、訓練や研修等を通じて、区職員の防災対応力の向上につなげ、さまざまな災害に対応できるようにすることを目的としています。 							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> ●震災時の瀬谷区被害想定(元禄型関東地震) 【建物被害】・揺れによる建物全半壊被害：4,397棟 ・火災による焼失棟数：891棟 【人的被害】・死者数：48人 ・負傷者数：548人 ・避難者数：12,948人 ●瀬谷区内の浸水想定区域(2級河川「境川」「和泉川」「阿久和川」 準用河川「相沢川」) ・計画規模：1,328世帯 3,082人 ・最大規模：3,536世帯 8,203人(令和3年7月現在) 							
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
水、食料、トイレ パックを3日以上 備蓄している割合 (平均)(区民意 識調査)	単位	目標	-	-	60	-	65	-
	%	実績	-	-				
体験型 プログラム 満足度	単位	目標	-	100	100	100	100	100
	%	実績	-	100.0				
災害医療の備え をしている区民 の割合(区民意 識調査)	単位	目標	-	-	50	-	60	-
	%	実績	-	-				
事業スケジュール	通年で実施							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	① 地域防災関係事業	7,494	7,708	▲ 214	感震ブレーカー設置補助事業終了による減
	② 災害時医療体制整備事業	672	738	▲ 66	リーフレット隔年発行による減
	③ 区本部運営関係事業	2,826	3,047	▲ 221	実績に基づく減
	④	0	0	0	
	⑤	0	0	0	
	⑥	0	0	0	
	⑦	0	0	0	
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
	細事業合計	10,992	11,493	▲ 501	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	庶務
	森田 伸一	越田 隆紀	金子 剛

事業区課	瀬谷区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	防犯・防災・安全対策費	1	目	枝番号	
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	1
事業名称	まちの安全支援事業			政策番号		政策指標
						前年度事業名称
						まちの安全支援事業
						実施番号
						実施指標

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和5年度	4,326	0	0	0		4,326
令和4年度	5,406	0	166	0		5,240
増△減	△ 1,080	0	△ 166	0	0	△ 914

歳出	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算 事業費	4,379	4,779	5,604
市債+一般財源	4,379	4,779	5,354
決算 事業費	4,246	5,423	5,235
市債+一般財源	4,246	5,423	5,003

令和6年度	令和7年度	令和8年度
4,326	4,326	4,326
4,326	4,326	4,326

事業概要	安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、関係団体との連携を図りながら、区民の防犯・交通安全意識の啓発・向上を図ります。また、駅周辺において放置自転車対策を実施します。							
事業開始年度	平成22年度							
根拠法令・方針決裁等	瀬谷区地域防犯自主活動補助金交付要綱、瀬谷区防犯活動団体補助金交付要綱、横浜市自転車等の放置防止に関する条例、自転車等放置防止推進協議会地区活動補助金交付要綱、スクールゾーン推進組織活動費補助金交付要綱							
運営方針等との関連	瀬谷区運営方針 II 目標達成に向けた施策「3 安全・安心のまちづくり」							
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	区内では、依然として特殊詐欺被害が発生しているとともに、令和3年度市民意識調査では、防犯対策が「充実すべきと思う公共サービス」の第4位となっています。そこで、防犯力を強化するための啓発や地域の防犯対策が必要です。 また、区内で発生する交通事故のうち、高齢者に関する事故の割合が多く、令和4年度高齢者交通事故多発地域に指定されているため、特に高齢者への啓発活動を行います。 さらに、駅周辺における放置自転車対策を実施します。 本事業は、各取り組みを通して、犯罪認知件数・交通事故発生件数・自転車等放置件数の減少を目指し、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進することを目的としています。							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> ・市内犯罪認知件数 <実績推移> 2年13,567件、3年12,746件、4年12,746件(見込)、5年12,746件(見込) ・市内交通事故発生件数 <実績推移> 2年7,398件、3年7,883件、4年7,883件(見込)、5年7,883件(見込) ・市内自転車等放置台数 <実績推移> 2年5,176件、3年4,251件、4年4,251件(見込)、5年4,251件(見込) 							
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
地域防犯の満足度(区民意識調査)	単位	目標	-	-	35.7	-	35.7	-
	%	実績	-	-				
区内交通事故発生件数	単位	目標	0	0	0	0	0	0
	件	実績	364	375				
区内自転車等放置台数	単位	目標	0	0	0	0	0	0
	台	実績	52	29				
事業スケジュール	平成22年度 事業開始 令和2～4年度 瀬谷区特殊詐欺等防止機器貸与事業 ※令和5年度に細事業の構成を変更。4年度までの細事業①「地域ふれあい110番」事業・②「防犯啓発事業」・③「防犯活動団体等補助事業」を①「地域防犯推進事業」に統合							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	①	地域防犯推進事業	1,247	1,747	▲ 500	迷惑電話防止機器貸与終了による減
②	交通安全対策事業	1,054	1,054	0		
③	スクールゾーン対策助成事業	1,125	1,505	▲ 380	電柱巻標識更新委託料の減	
④	放置自転車対策事業	900	1,100	▲ 200	見直しによる減	
	細事業合計	4,326	5,406	▲ 1,080		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	松岡 文和	曾宮 幸之助	倉持 さやか

事業区課	瀬谷区	生活衛生課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域福祉保健推進費	1	目	枝番号	
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	1
事業名称	食の安全と動物愛護等推進事業		政策番号		政策指標	
			政策番号		施策番号	
					施策指標	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和5年度	764	0	0	0		764
令和4年度	794	0	0	0		794
増△減	△30	0	0	0	0	△30

歳出		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算	事業費	1,072	1,074	778	780	780	780
	市債+一般財源	1,072	1,074	778	780	780	780
決算	事業費	1,208	890	776			
	市債+一般財源	1,208	890	776			

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉施設、学校行事、地域活動での食中毒・感染症予防のために、衛生講習会や予防啓発を実施する。 ペット飼育のマナー向上や動物愛護精神の涵養のために、マナー向上啓発や飼い主向け講習会を実施する。 飼い主のいない猫問題への対策として、市民ボランティア等との協働により不妊去勢手術と適正管理を推進する。 							
事業開始年度	平成15年度							
根拠法令・方針決裁等	<ul style="list-style-type: none"> 食品衛生法 ・ 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 動物の愛護及び管理に関する法律 ・ 横浜市猫の適正飼育ガイドライン 他 							
運営方針等との関連	区政運営方針 目標達成に向けた施策 施策3「安全・安心のまちづくり」							
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果(必要性)	<p>1 背景・課題の分析</p> <p>(1) 食中毒、ノロウイルス等による感染性胃腸炎やレジオネラ症等の感染症について、被害拡大のリスクが高い保育園・幼稚園や小学校、高齢者施設等における自主衛生管理の定着と推進が必要である。また、地域の催事やボランティア活動、学校行事等では食品が提供される機会が多いが、単発的に一般の区民が調理行為を行うことによる事故発生リスクがあるため、食品衛生啓発を継続的に実施する必要がある。</p> <p>(2) ペットの飼育に関する苦情は多く寄せられており、飼い主のマナー向上や動物愛護の推進に向けた継続的な啓発が必要である。</p> <p>(3) 飼い主のいない猫の繁殖や糞尿等の近隣トラブルに関する相談が多く寄せられているため、動物の愛護及び管理に関する法律に基づく飼い主のいない猫の適切な管理方法について、給餌者や地域への指導・啓発が必要である。市民ボランティアの活動を支援し、行政、地域、ボランティアの三者が連携して飼い主のいない猫の不妊去勢手術の実施や適切な給餌・排泄物等の管理について取り組む必要がある。</p> <p>2 成果指標</p> <p>(1) 食中毒の発生件数が減少する</p> <p>(2) 犬の飼育に関する苦情件数が減少する</p> <p>(3) 地域における飼い主のいない猫対策が推進される</p>							
根拠・データ等	<p>市内食中毒発生状況:令和3年32件(患者数236人)、令和2年37件(患者数93人)、令和元年50件(患者数258人)</p> <p>区内食中毒発生状況:令和3年0件、令和2年1件(患者数2人)、令和元年3件(患者数36人)</p> <p>瀬谷区犬の登録頭数:令和3年6387頭、令和2年度6427頭、令和元年度6400頭</p>							
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
食中毒の発生	単位	目標	0	0	0	0	0	0
	件	実績	1	0				
犬のふん尿に関する苦情	単位	目標	60	50	50	40	40	30
	件	実績	52	45				
自活不能猫の収容	単位	目標	60	50	50	40	40	30
	頭	実績	56	27				
事業スケジュール	<p>平成15年度事業開始</p> <p>令和2年度飼い主のいない猫対策事業開始</p> <p>令和3年度猫ボランティア登録制度開始、地域猫シンポジウム開催</p> <p>令和4年度猫ボランティア研修実施</p>							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	① 食中毒・感染症予防対策事業	233	275	▲42	在庫活用による消耗品費の減
	② 動物愛護普及啓発事業	260	260	0	
	③ 飼い主のいない猫対策支援事業	271	259	12	実績に基づく駐車場代の増
	④	0	0	0	
	⑤	0	0	0	
	⑥	0	0	0	
	⑦	0	0	0	
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
	細事業合計	764	794	▲30	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	生活衛生
	笹尾 忠由	内木 文	内木 文

事業区課	瀬谷区	区政推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	街づくり推進費	1	目	枝番号	
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	前年度事業名称
事業名称	まちづくり推進事業		政策番号		政策指標	
			政策番号		施策番号	
					施策指標	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和5年度	5,725	0	0	0		5,725
令和4年度	6,406	0	0	0		6,406
増△減	△ 681	0	0	0	0	△ 681

歳出		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算	事業費	5,888	6,130	6,514	6,200	6,200	6,200
	市債+一般財源	5,888	6,130	6,514	6,200	6,200	6,200
決算	事業費	4,959	5,237	6,176			
	市債+一般財源	4,959	5,237	6,176			

事業概要	時代とともに変化する区民ニーズを捉え、いつまでも暮らしやすく活力と魅力あふれるまちづくりに向けた施策に取り組んでいきます。							
事業開始年度	平成18年度							
根拠法令・方針決裁等								
運営方針等との関連	令和4年度 瀬谷区運営方針 II. 目標達成に向けた施策「魅力の創出、区民協働の推進」							
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	いつまでも暮らしやすく活力と魅力あふれるまちづくりを推進していくためには、時代とともに変化する区民ニーズを迅速かつ的確に捉え、運営方針や様々な施策に反映させる必要があります。また、施策の推進のためには区民の意向を十分に踏まえ、関係機関との連絡・調整などを行う必要があります。特に旧上瀬谷通信施設において、土地利用の検討が進められるとともに国際園芸博の開催にむけて取り組んでおり、そうした状況を踏まえ、より一層区民意向の把握や関係機関との連絡調整に取り組むことが求められています。加えて、区内施策の推進のためには区民の意向を十分に踏まえ、関係機関との連絡・調整などを行う必要があります。区民の考えや意見を定期的に調査・分析することで、現状を把握し、データに基づいた今後の区政運営の基礎資料としていく必要があります。							
根拠・データ等	令和元年度区民意識調査結果 「お住まいの周辺の総合的な環境」について、「満足」「やや満足」と答えた人の割合、73.4%。 「お住まいの周辺の総合的な環境」について、以前と比べて「良くなった」と答えた人の割合は10.3%に対し、悪くなったと答えた人の割合は4.4%となっており、「良くなった」と答えた人の割合が5.9ポイント上回っている。							
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
お住まい周辺の総合的な環境への満足度 (区民意識調査)	単位	目標	-	-	75	-	75	-
	%	実績	-	-				
良くなったと答えた人と悪くなったと答えた人の差 (区民意識調査)	単位	目標	-	-	6	-	6	-
	%	実績	-	-				
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	平成19年：瀬谷駅北口駅前広場活用推進協議会 設立 平成27年：瀬谷区上瀬谷通信施設返還対策協議会 設立							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	① まちづくり調整	3,185	5,405	▲ 2,220	事業見直しによる減
	② 区民意識調査	2,040	0	2,040	5年ごとの実施による増
	③ ムクドリ等対策	500	1,001	▲ 501	事業見直しに伴う減
	④	0	0	0	
	⑤	0	0	0	
	⑥	0	0	0	
	⑦	0	0	0	
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
	細事業合計	5,725	6,406	▲ 681	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整
	堀内 久一	竹本 健吾	村野 晃代

事業区課	瀬谷区	区政推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	街づくり推進費	1	目	枝番号	
歳出予算科目	一般会計	3 款	2 項	1 目	枝番号	前年度事業名称
事業名称	環境行動推進事業			政策番号	政策指標	施策番号

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和5年度	2,326	0	0	0		2,326
令和4年度	2,591	0	0	0		2,591
増△減	△265	0	0	0	0	△265

歳出	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算 事業費	2,576	2,770	2,499	2,561	2,561	2,561
市債+一般財源	2,576	2,770	2,499	2,561	2,561	2,561
決算 事業費	1,864	1,469	1,594			
市債+一般財源	1,864	1,469	1,594			

事業概要	区民が身近で気軽に取り組むことができる温暖化防止行動の提案と繰り返しの啓発を行うことで、区民の環境意識を高め、行動への一助とする。					
事業開始年度	平成21年度					
根拠法令・方針決裁等	地球温暖化対策の推進に関する法律					
運営方針等との関連	令和4年度瀬谷区運営方針「魅力の創出・区民協働の推進」					

①背景・課題の分析
②事業目的・効果(必要性)

地球温暖化の主な原因であるCO₂の排出量のうち、横浜市では家庭からの排出量が占める割合が高いのが特徴です。そこで、家庭からのCO₂排出量削減のため、区民が家庭でできる省エネや緑化などの身近な温暖化防止行動を実践しやすくなるような支援が求められています。SDGsの達成への貢献及び脱炭素社会の実現に向けて、特に行動を起こしていない人の後押しをするための普及啓発と子どもの頃から環境行動に慣れ親しんでもらうことに重点を置いた取り組みを推進し、区民の環境や環境の取り組みへの高い関心度を維持します。

根拠・データ等

・横浜市における部門別の二酸化炭素排出量（横浜市記者発表資料「2020年度の市内の温室効果ガス排出量（速報値）7年連続で減少（前年度比7.4%減）」より（4年4月22日発表）
<実績>家庭部門29.4%/業務部門19.4%/産業部門9.9%/エネルギー転換部門18.8%/運輸部門19.7%/廃棄物部門2.8%

事業指標		年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
環境や環境の取り組みに関心がある区民の割合（環境に関する市民意識調査）	単位	目標	—	80.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0
	%	実績	77.8	81.0					
電気やガス、水のムダづかいに気をつけている区民の割合（環境に関する市民意識調査）	単位	目標	—	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
	%	実績	88.9	85.7					
	単位	目標							
		実績							

事業スケジュール

平成22年度：環境行動普及啓発事業、緑化推進事業開始
平成24年度：節電啓発事業開始
平成30年度：環境行動普及啓発事業 スポGOMI大会初開催

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	① 環境行動普及啓発事業	1,362	1,707	▲345	実施内容直しに伴う減
	② 緑化推進事業	964	884	80	区内保育園、小学校への花博広報看板設置等による増
	③	0	0	0	
	④	0	0	0	
	⑤	0	0	0	
	⑥	0	0	0	
	⑦	0	0	0	
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
細事業合計		2,326	2,591	▲265	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 堀内 久一	係長 道原 洋介	企画調整 係 佐々木 大輔
--------------------	-------------	-------------	------------------

事業区課 瀬谷区 地域振興課 新規拡充 □新規 □拡充 事業評価書番号 該当なし
予算区分 自主企画事業費 地域コミュニティ費
歳出予算科目 一般会計 3 款 2 項 1 目 枝番号 前年度事業名称 瀬谷区3R夢推進事業
事業名称 瀬谷区3R夢推進事業 政策番号 政策指標 施策番号 施策指標

(単位:千円)

区分 金額 財源内訳 国 県 諸収入 一般財源等 市債 一般財源
令和5年度 1,355
令和4年度 1,355
増△減 0 0 0 0 0 0

歳出 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度
予算 事業費 1,955 2,155 1,955
市債+一般財源 1,955 2,155 1,955
決算 事業費 1,706 1,762 1,644
市債+一般財源 1,706 1,762 1,644

事業概要 区民が身近で気軽に取り組むことができる3R行動の提案と繰り返しの啓発を行うことで、区民の環境意識を高め、3R夢プランを一層推進します。
事業開始年度 平成17年度
根拠法令・方針決裁等 横浜市一般廃棄物処理基本計画(ヨコハマ3R夢プラン推進計画)、横浜市廃棄物等の減量化、資源化及び適正処理に関する条例
運営方針等との関連 魅力の創出、区民協働の推進
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果(必要性) 現在の「ヨコハマ3R夢プラン」では、家庭から出るごみと資源の総量を減らし、ごみ処理に伴う温室効果ガスの総量を削減することを目指しています。
根拠・データ等 【瀬谷区 燃やすごみ実績】 燃やすごみ量(トン) 3年度19,122 2年度19,870 元年度19,351 30年度19,033 29年度19,291
事業指標 年度 2年度 3年度 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度
瀬谷区 燃やすごみ量 単位 目標 18,693 18,693 18,693 18,693 18,693 18,693 18,693
トン 実績 19,870 19,122
瀬谷区 ごみと資源の総量 単位 目標 26,375 26,375 26,375 26,375 26,375 26,375 26,375
トン 実績 27,869 26,821
事業スケジュール 1 3R夢推進事業 (1)3R夢啓発:分別相談会の開催、チラシ等の配布、環境学習の開催、イベント・キャンペーンの実施(通年実施)
(2)リユース文庫・リユース情報板の運営(通年実施)
(3)フードドライブの受付(常時受付)
(4)子育て世帯3R夢推進事業(通年実施)
2 きれいなまちづくり推進事業 区民清掃活動の支援、不法投棄防止事業(通年)
クリーンストリート事業:花苗配布(6月、11月)

(単位:千円)

細事業名称 5年度 4年度 差引(増減) 増減説明
① 3R夢推進事業 970 970 0
② きれいなまちづくり推進事業 385 385 0
③ 0 0 0
④ 0 0 0
⑤ 0 0 0
⑥ 0 0 0
⑦ 0 0 0
⑧ 0 0 0
⑨ 0 0 0
⑩ 0 0 0
細事業合計 1,355 1,355 0

本資料は、公正・適正に作成しました。 課長 屋代 正男 係長 澤野 仁晴 資源化推進担当 係 澤野 仁晴

事業区課	瀬谷区	こども家庭支援課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	子育て・子ども・青少年育成費	1	目	枝番号	前年度事業名称	健やか瀬谷っ子事業
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	政策番号	政策指標
事業名称	健やか瀬谷っ子事業		政策番号	政策指標	施策番号	施策指標	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和5年度	5,907	0	0	30		5,877
令和4年度	6,143	0	0	30		6,113
増△減	△ 236	0	0	0	0	△ 236

歳出		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算	事業費	6,993	6,568	5,811	5,907	5,907	5,907
	市債+一般財源	6,953	6,528	5,781	5,877	5,877	5,877
決算	事業費	6,356	4,713	4,433			
	市債+一般財源	6,323	4,713	4,433			

事業概要	子育て家庭が安心して子どもを育てられるよう、妊娠中から子育てについての知識や情報を提供するとともに、身近な地域での仲間づくりや育児相談、保育・教育施設の利用の紹介を行うことで、子育て力を高めていけるように支援します。							
事業開始年度	平成19年度							
根拠法令・方針決裁等	母子保健法、児童福祉法、横浜市子ども・子育て支援事業計画							
運営方針等との関連	区運営方針の目標達成に向けた施策「子ども・青少年の育成」、瀬谷区地域保健計画の基本目標							
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	<p>(1) 「横浜市子ども・子育て支援事業計画の策定に向けた利用ニーズ把握のための調査」では、子育てを楽しく安心して行うためには、子育て中の親同士の仲間づくりのための支援を求める意見が多く、近所との付き合いが親密なほど、生活の満足度が高い傾向となっていることから、身近な地域での仲間づくりを支援する必要があります。</p> <p>(2) はじめての子どもが産まれる前に、赤ちゃんの世話をしたことがない人が7割以上となっており、将来子どもを産み育てることのイメージが持ちにくくなっているため、若い世代へのアプローチが必要です。</p> <p>(3) 本事業は、子どもが健やかに生まれ育つこと、及び養育者が安心して子どもを育てることができるようになることを目的としています。</p>							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> ・瀬谷区出生数 (R2) : 767人 ・保育所利用児童数 (R4.4) : 1,762人 							
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
子育て環境が整っていることを理由に、瀬谷区に住み続けたいと思う子育て世帯等の割合 (区民意識調査)	単位	目標	-	-	18	-	20	-
	%	実績	-	-				
子育て応援イベントを通して、地域の子育て支援の会場等に参加したいと思った人の割合	単位	目標	-	-	100	100	100	100
	%	実績	-	-				
事業スケジュール	<p>元年度：イヤイヤ期リーフレット作成・印刷</p> <p>2年度：イヤイヤ期リーフレット配付、来庁者一時託児事業終了 (12月末)</p> <p>3年度：瀬谷区妊娠・出産・子育てマイカレンダー作成</p> <p>4年度：瀬谷区妊娠・出産・子育てマイカレンダー (外国語版) 作成</p> <p>5年度：1歳児の子育てを応援するリーフレットの作成</p>							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	5年度	4年度	差引 (増減)	増減説明
	① 親育ち・子育て事業	2,330	2,950	▲ 620	局予算対応等による減
	② 思春期命の大切さ啓発事業	226	180	46	実績に基づく増
	③ 保育サービス関連事業	558	558	0	
	④ 子育て応援事業	2,793	2,455	338	新規事業に伴う増
	⑤	0	0	0	
	⑥	0	0	0	
	⑦	0	0	0	
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
	細事業合計	5,907	6,143	▲ 236	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	こども家庭係
	小澤 美奈子	城 可奈子	金田 佳丈

事業区課	瀬谷区	子ども家庭支援課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	子育て・子ども・青少年育成費	1	目	枝番号	
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	前年度事業名称
事業名称	未来を拓け！瀬谷っ子事業			政策番号		政策指標
					施策番号	
						施策指標

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和5年度	4,849	0	0	0		4,849
令和4年度	8,207	0	0	0		8,207
増△減	△ 3,358	0	0	0	0	△ 3,358

歳出		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算	事業費	4,010	7,733	8,207	4,849	4,849	4,849
	市債＋一般財源	4,010	7,733	8,207	4,849	4,849	4,849
決算	事業費	3,528	7,447	7,807			
	市債＋一般財源	3,528	7,447	7,807			

事業概要	小・中学生が自己肯定感を高め、夢や希望をもって社会生活を送れるよう、学校・地域・団体等と連携した放課後の学習支援や生活支援を行います。また、放課後児童の育成を支援します。							
事業開始年度	平成28年度							
根拠法令・方針決裁等	横浜市子ども・子育て支援事業計画							
運営方針等との関連	令和4年度運営方針「子ども・青少年の育成」「健康増進、福祉の充実」							
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	瀬谷区では、福祉的な課題等を抱える世帯が多く、支援が必要な子どももいます。そこで、すべての子どもたちが社会に出て、自ら考え行動できるよう、学習習慣や学習意欲を身につけるための放課後の学習支援や、社会生活のスキルを学ぶための体験が必要とされています。小・中学生が自己肯定感を高め、夢や希望をもって社会生活を送れるようにすることを目的としています。							
根拠・データ等	生活保護率(人口比) 市内3位 (R4.3月) 公営・公社借家比率 市内1位 (R2年国勢調査)							
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
学習支援の年間延べ参加人数	単位	目標	-	-	7,500	7,500	7,500	7,500
	人	実績	3,325	5,099				
学習支援利用児童の学習時間増加割合	単位	目標	-	-	70.0	70.0	70.0	70.0
	%	実績	-	-				
	単位	目標						
	実績							
事業スケジュール	平成31年度：寄り添い型生活支援事業「子どもの生活塾」 区内2か所目(南部)を開所。 令和2年度：学習支援事業を10校で実施。 令和3年度～：学習支援事業を区内全校(11校)で実施。アフターフォロー事業実施。							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	① 生きる力を育む小学生の学習支援事業	3,614	3,614	0	
	② 瀬谷区版寄り添い型生活支援推進事業	650	3,850	▲ 3,200	局予算化による減
	③ 放課後児童育成支援事業	585	585	0	
	④ 学習支援ボランティア養成講座	0	158	▲ 158	事業終了による減
	⑤	0	0	0	
	⑥	0	0	0	
	⑦	0	0	0	
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
細事業合計		4,849	8,207	▲ 3,358	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	小川 寛文	松浦 基晴	佐々木 誠幸

事業区課 瀬谷区 地域振興課 新規拡充 □新規 □拡充 事業評価書番号 該当なし
予算区分 自主企画事業費 子育て・子ども・青少年育成費
歳出予算科目 一般会計 3 款 2 項 1 目 枝番号 前年度事業名称 青少年育成支援事業
事業名称 青少年育成支援事業 政策番号 政策指標 施策番号 施策指標

(単位:千円)

区分 金額 財源内訳 国 県 諸収入 市債 一般財源等 一般財源
令和5年度 2,069 0 0 0 2,069
令和4年度 2,152 0 0 0 2,152
増△減 △83 0 0 0 0 0 △83

歳出 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度
事業費 3,282 2,637 2,104 2,069 2,069 2,069
市債+一般財源 3,282 2,637 2,104 2,069 2,069 2,069
事業費 2,256 1,454 1,707 2,256 2,256 2,256
市債+一般財源 2,256 1,454 1,707 2,256 2,256 2,256

事業概要 横浜市子ども・子育て支援事業計画等を推進するため、区民や地域の関連団体、学校等と一緒に、青少年の心豊かな成長を支援します。
事業開始年度 平成21年度

根拠法令・方針決裁等 第2期横浜市子ども・子育て支援事業計画、今後の青少年の体験活動の推進について(答申)(中教審第160号)、子供・若者育成支援推進大綱(令和3年4月6日 子ども・若者育成支援推進本部決定)、瀬谷区子ども会育成連絡協議会補助金交付要綱

運営方針等との関連 令和4年度瀬谷区運営方針「子ども・青少年の育成」

①背景・課題の分析 ②事業目的・効果(必要性) 新型コロナウイルス感染症の流行、情報化、国際化、少子高齢化の急激な進行等により、子供・若者を取り巻く状況が大きく変化しているとともに、核家族化の進行やインターネット環境が発展していることから、自然や社会などと直接関わり合うことが希薄となつて...

根拠・データ等 ・地域とのつながりに関する意識「隣近所との付き合い方」【出典：横浜市民生活白書2019】 「顔もよく知らない……ア」「挨拶ぐらにする……イ」「たまに立ち話する……ウ」「一緒に買い物に行ったり、気のあった人と親しくしている……エ」「困ったとき、相談したり助け合ったりする……オ」

事業指標 年度 2年度 3年度 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度
アンケート含めた有識者による効果検証 単位 目標 未実施 未実施 90 90 90 90 90
% 実績 未実施 未実施
せやっこだより閲覧数 単位 目標 未実施 3,800 3,800 4,400 5,000 5,600 6,300
回 実績 未実施 1,200
中高生ボランティア活動証明書発行数 単位 目標 6 10 110 110 110 110
枚 実績 6 5

事業スケジュール ・令和2年度：青少年の健やかな育成に向けた体験事業の実施
・令和3年度：青少年の健やかな育成に向けた体験事業の実施
・令和4年度：青少年の健やかな育成に向けた体験事業及び創造的な未来を切り拓く青少年の応援
・令和5年度：青少年の健やかな育成に向けた体験事業及び創造的な未来を切り拓く青少年の応援
・令和6年度：青少年の健やかな育成に向けた体験事業及び創造的な未来を切り拓く青少年の応援

(単位:千円)

細事業名称 5年度 4年度 差引(増減) 増減説明
①せやっこ体験事業 1,537 1,607 ▲70 歳出元の移行に伴う減
②ボランティア促進事業 432 445 ▲13 事業手法の見直しによる減
③青少年関連団体支援事業 100 100 0
④ 0 0 0 0
⑤ 0 0 0 0
⑥ 0 0 0 0
⑦ 0 0 0 0
⑧ 0 0 0 0
⑨ 0 0 0 0
⑩ 0 0 0 0
細事業合計 2,069 2,152 ▲83

課長 係長 区民協働推進係
本資料は、公正・適正に作成しました。 松岡 文和 小池 崇裕 山本 章郎

事業区課	瀬谷区	こども家庭支援課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	子育て・子ども・青少年育成費	1	目	枝番号	前年度事業名称
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	児童虐待防止対策事業
事業名称	児童虐待防止対策事業		政策番号		政策指標	施策番号
						施策指標

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和5年度	2,223	0	0	0		2,223
令和4年度	1,879	0	0	0		1,879
増△減	344	0	0	0	0	344

歳出		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算	事業費	1,286	1,293	1,423	2,223	2,223	2,223
	市債+一般財源	1,286	1,293	1,423	2,223	2,223	2,223
決算	事業費	1,202	719	1,144			
	市債+一般財源	1,202	719	1,144			

事業概要	地域の見守り力を高め、瀬谷区全体で児童虐待の早期発見や予防ができるよう、児童虐待防止対策事業を行います。							
事業開始年度	平成24年度							
根拠法令・方針決裁等	児童福祉法、児童虐待防止法、横浜市子供を虐待から守る条例、横浜市子ども・子育て支援事業計画							
運営方針等との関連	目標達成に向けた施策「子ども・青少年の育成」							
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	(1) 瀬谷区は、経済的な困窮、障害、多子、若年出産などの課題を複合的に抱えた家庭が多いため、適切に養育できるよう支援が必要です。 (2) 児童虐待の防止や早期対応をしていくために、地域や学校等関係機関と連携の強化を図る必要があります。 (3) 本事業は児童虐待の早期発見及び未然防止を促進し、子どもが健やかに成長できるようになることを目的としています。							
根拠・データ等	生活保護率（人口比）…令和4年3月 市内3位 多子の割合（出生児比）…令和2年 市内1位 19歳以下の母の出生数… 令和2年 市内1位							
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
児童虐待防止を啓発した人数	単位	目標	—	—	2000	2000	2000	2000
	人	実績	—	—				
	単位	目標						
	実績							
	単位	目標						
	実績							
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年4月 こども家庭総合支援拠点機能の設置に向け、こどもの権利擁護担当の体制確保 令和3年10月 こども家庭総合支援拠点機能が瀬谷区を含む10区で開始 令和4年10月 こども家庭総合支援拠点機能の全区整備 							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	① 子育て家庭支援事業	1,693	945	748	事業の統合整理及び充実に伴う増
	② 児童虐待防止啓発事業	530	934	▲404	事業の統合整理等に伴う減
	③	0	0	0	
	④	0	0	0	
	⑤	0	0	0	
	⑥	0	0	0	
	⑦	0	0	0	
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
細事業合計		2,223	1,879	344	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	子ども家庭係
	小澤 美奈子	岡島 賢一	金田 佳汰

事業区課 瀬谷区 福祉保健課 新規拡充 □ 新規 ■ 拡充 事業評価書番号 該当なし

(単位：千円)

区分 金額 財源内訳 一般財源等

歳出 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度

事業概要 事業開始年度 根拠法令・方針決裁等 運営方針等との関連 ①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性) 根拠・データ等 事業指標 事業スケジュール

(単位：千円)

細事業名称 5年度 4年度 差引(増減) 増減説明

課長 吉川 正則 係長 長尾 眞佐枝 健康づくり係 前田 由加

本資料は、公正・適正に作成しました。

令和5年度 事業計画書

事業区課	瀬谷区	高齢・障害支援課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域福祉保健推進費	1	目	枝番号	
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	
事業名称	高齢者等地域拠点支援事業			政策番号		政策指標
					施策番号	
						実施指標

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源	
令和5年度	510						510
令和4年度	510						510
増△減	0	0	0	0	0	0	0

歳出		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算	事業費	1,520	2,520	1,520			
	市債+一般財源	1,520	2,520	1,520	510	510	510
決算	事業費	1,439	2,192	1,208			
	市債+一般財源	1,439	2,192	1,208	510	510	510

事業概要	身近な地域における多世代の交流による支えあいの推進を図るため、区内の高齢者等地域拠点の活動支援を行います。								
事業開始年度	令和元年度								
根拠法令・方針決裁等	「ほかほかプラザ」を拠点とした阿久和南部地域の支えあい推進事業実施要綱 「ほかほかプラザ」を拠点とした阿久和南部地域の支えあい推進事業補助金交付要綱								
運営方針等との関連	瀬谷区運営方針 目標達成に向けた施策「健康増進・福祉の充実」								
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	阿久和南部地区は、高齢化率、要介護認定率、高齢者独居世帯の比率が高く、障害者や子育て世代を含めた多世代が居住する県営阿久和団地があります。阿久和南部地域の支えあいの推進を図るため、平成26年7月に開所した地域福祉・交流拠点「ほかほかプラザ」で実施される高齢者・障害者・子育て世帯等を対象とする事業に対して支援を行います。本事業は、多世代の交流による顔の見える関係や支えあいのできる地域づくりを行うことを目的としています。								
根拠・データ等	【阿久和南部地区データ（令和3年9月末時点）】 高齢化率 29.86%（区：28.00%、市：24.76%）、要介護認定率 22.71%（区：21.94%、市：19.58%） 高齢者独居世帯割合 18.64%（区：17.60%、市：15.51%） 【阿久和団地データ（令和3年9月末時点）】 高齢化率 41.27%（区：28.00%、市：24.76%）、要介護認定率 22.42%（区：21.94%、市：19.58%） 高齢者独居世帯割合 23.98%（区：17.60%、市：15.51%）								
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
利用者数	単位	目標	7600	3100	1000	1250	1500	1750	2000
	人	実績	3031	243					
	単位	目標							
		実績							
	単位	目標							
		実績							
事業スケジュール	・平成27～30年度は区環境未来都市推進事業で実施 ・令和元年度事業開始								

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	① 「ほかほかプラザ」支えあい推進事業	510	510	0	
	②	0	0	0	
	③	0	0	0	
	④	0	0	0	
	⑤	0	0	0	
	⑥	0	0	0	
	⑦	0	0	0	
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
細事業合計		510	510	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	高齢者支援担当
	小西 美香子	速水 英子	速水 英子

事業区課	瀬谷区	高齢・障害支援課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域福祉保健推進費	1	目	枝番号	
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	
事業名称	障害者地域生活支援事業			政策番号		政策指標
					施策番号	
					施策指標	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和5年度	1,430					1,430
令和4年度	1,430					1,430
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算	事業費	2,104	2,054	1,430	1,430	1,430	1,430
	市債+一般財源	2,104	2,054	1,430	1,430	1,430	1,430
決算	事業費	1,689	998	909			
	市債+一般財源	1,689	998	909			

事業概要	障害者の地域生活を支援するため、障害理解促進の啓発や、障害者地域自立支援協議会の運営支援等を通じた関係機関のネットワーク作りを進め、誰もが暮らしやすい地域づくりに取組みます。							
事業開始年度	平成18年度							
根拠法令・方針決裁等	障害者基本法、知的障害者福祉法、身体障害者福祉法、精神保健福祉法、発達障害者支援法、障害者総合支援法、障害者虐待防止法、障害者差別解消法							
運営方針等との関連	瀬谷区運営方針、瀬谷区地域福祉保健計画							
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	第4期横浜市障害者プランでは、「障害のある人もない人も、誰もが人格と個性を尊重し合いながら、地域共生社会の一員として、自らの意思により自分らしく生きることができるとともに、誰もが暮らしやすい地域づくりを目指す」という基本目標が掲げられています。瀬谷区においては、障害者手帳をお持ちの方の割合は他区に比べ高く、よりきめ細かい支援や、関係機関での体制づくりが必要です。本事業では、次のような取組を通じ、誰もが暮らしやすい地域づくりを行うことで、地域共生社会の実現を目的とします。 ・障害者地域自立支援協議会を軸に、関係機関とのネットワークづくりを行い、様々な地域課題の抽出、課題解決に共に取組みます。 ・障害のある方が地域で安心して生活できるよう、地域への障害理解促進に向けた取組を実施します。 ・障害の有無に捉われない幅広い自殺対策啓発事業を実施します。							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> 瀬谷区身体障害者手帳所持者数【各年度3月末現在】 <実績推移>元年度4,095人、2年度4,037人、3年度4,023人、4年度4,030人（見込） 瀬谷区知的障害者「愛の手帳」所持者数【各年度3月末現在】 <実績推移>元年度1,536人、2年度1,604人、3年度1,659人、4年度1,700人（見込） 瀬谷区精神障害者保健福祉手帳所持者数【各年度3月末現在】 <実績推移>元年度1,740人、2年度1,836人、3年度1,948人、4年度2,050人（見込） 							
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
自立支援協議会参加団体数	単位	目標	121	123	126	126	126	126
	団体数	実績	121.0	123.0				
自立支援協議会での自主製品販売会開催数	単位	目標	4	4	6	8	10	10
	回	実績	2.0	1.0				
ゲートキーパー養成数	単位	目標	30	30	30	30	30	30
	人	実績	24	26				
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 平成18年度 事業開始 平成25年度 障害者総合支援法 施行 令和2年度 地域生活支援拠点整備 							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	① ネットワーク活動事業	330	330	0	
	② 障害理解促進事業	550	550	0	
	③ 自殺対策啓発事業	550	550	0	
	④	0	0	0	
	⑤	0	0	0	
	⑥	0	0	0	
	⑦	0	0	0	
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
	細事業合計	1,430	1,430	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	障害者支援担当
	小西 美香子	中込 信人	中込 信人

事業区課 瀬谷区 福祉保健課 新規拡充 □ 新規 ■ 拡充 事業評価書番号 該当なし

(単位：千円)

区分 金額 財源内訳 国 県 諸収入 市債 一般財源

歳出 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度

事業概要 事業開始年度 根拠法令・方針決裁等 運営方針等との関連 ①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性) 根拠・データ等 事業指標 事業スケジュール

(単位：千円)

細事業 (事業内訳) 細事業名称 5年度 4年度 差引(増減) 増減説明

課長 係長 本資料は、公正・適正に作成しました。 吉川 正則 上本 徹 運営企画 係 半沢 奈那子

令和5年度 事業計画書

事業区課	瀬谷区	高齢・障害支援課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域福祉保健推進費	1	目	枝番号	前年度事業名称
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	地域包括ケア推進事業
事業名称	地域包括ケア推進事業		政策番号		政策指標	施策番号
						施策指標

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和5年度	1,364					1,364
令和4年度	1,406					1,406
増△減	△42	0	0	0	0	△42

歳出		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算	事業費	2,120	1,684	1,444	1,400	1,400	1,400
	市債+一般財源	2,120	1,684	1,444	1,400	1,400	1,400
決算	事業費	2,282	1,038	1,169			
	市債+一般財源	2,282	1,038	1,169			

事業概要	高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けられるように、介護・医療・介護予防・生活支援・住まいが一体的に提供される包括的な支援・サービス提供体制の構築を進めるため、関係機関とのネットワーク強化、区民への普及啓発・支援等を行います。
事業開始年度	平成22年度

根拠法令・方針決裁等	老人福祉法、介護保険法、第8期横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画（よこはま地域包括ケア計画）、瀬谷区アクションプラン
運営方針等との関連	瀬谷区運営方針 目標達成に向けた施策「健康増進、福祉の充実」

①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	2025年に団塊の世代が75歳を迎え、瀬谷区では高齢化率が約30%、認知症高齢者の割合が20%を超えると予測されており、介護、医療、生活支援等のニーズが増大するため、高齢者やその家族を地域で支える仕組みづくりをより一層強化する必要があります。また、在宅高齢者をサポートする多職種の支援者同士の連携を進めるとともに、認知症に関する地域の関係者の連携や区民の理解の促進を図ることなどにより、地域包括ケアシステムの構築を進めることが求められています。本事業は、医療・介護の連携など多職種連携の強化により、利用者の状況に応じた必要なケアを一体的に提供することができる体制を構築すること、また、認知症に関する正しい知識の普及や認知症に関する地域の関係機関の連携強化により、認知症の人やその家族がいつでも地域で自分らしく暮らし続けられるまちづくりを目的としています。
--------------------------------	---

根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> 瀬谷区高齢者数 令和4年3月末：34,252人（28.0%）、令和7年見込：34,490人（29.3%）、令和23年見込：38,400人（36.9%） 瀬谷区要介護認定者数 令和4年3月末：7,467人 瀬谷区認知症高齢者数（推計） 令和2年：約6,200人（高齢者に占める割合18.0%）、令和7年：約7,100人（同20.6%）
---------	--

事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
多職種交流会参加者の満足度	単位	目標	—	—	80	80	80	80
	%	実績	—	—				
認知症サポーター新規養成人数	単位	目標	1300	1000	1000	1000	1000	1000
	人	実績	616	937				

事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 平成21年度：介護こころ相談室開始（平成24年度～令和2年度は区配予算とあわせて実施） 平成30年度：高齢者見守りキーホルダー事業開始（2月）
----------	--

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	① 地域包括ケア推進事業	1,364	1,406	▲42	印刷物等の在庫活用による減
	②	0	0	0	
	③	0	0	0	
	④	0	0	0	
	⑤	0	0	0	
	⑥	0	0	0	
	⑦	0	0	0	
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
	細事業合計	1,364	1,406	▲42	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	高齢者支援担当
	小西 美香子	速水 英子	速水 英子

令和5年度 事業計画書

事業区課 瀬谷区 地域振興課 新規拡充 □ 新規 ■ 拡充 事業評価番号 該当なし
予算区分 自主企画事業費 地域コミュニティ費
歳出予算科目 一般会計 3 款 2 項 1 目 枝番号 前年度事業名称 区民活動支援事業
事業名称 区民活動支援事業 政策番号 政策指標 施策番号 施策指標

(単位：千円)

区分 金額 財源内訳 国 県 諸収入 一般財源等 市債 一般財源
令和5年度 13,201 0 0 0 13,201
令和4年度 11,586 0 0 0 11,586
増△減 1,615 0 0 0 0 0 1,615

歳出 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度
予算 事業費 8,549 9,387 12,004 13,201 13,201 13,201
市債+一般財源 8,549 9,387 12,004 13,201 13,201 13,201
決算 事業費 8,806 8,390 9,657
市債+一般財源 8,806 8,390 9,657

事業概要 区役所が地域社会と協働して地域の活性化・地域力の向上を図るために、区民の活動を様々な視点から支援します。
事業開始年度 平成22年度
根拠法令・方針決裁等 瀬谷区いきいき区民活動支援補助金交付要綱、横浜市市民協働条例、生涯学習基本構想第3次計画、瀬谷区自治会町内会長永年在職者表彰要綱、瀬谷区自治会町内会広報掲示板整備事業補助金要綱、瀬谷区生き生き区民顕彰要綱、瀬谷区スポーツ協会補助金交付要綱、瀬谷区学校スポーツ振興補助金要綱、横浜市民の読書活動の推進に関する条例、第二次横浜市読書活動推進計画、第二次瀬谷区読書活動推進目標、横浜市民の読書活動の推進に関する条例、横浜市中期計画
運営方針等との関連 魅力の創出・区民協働の推進
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性) 区役所は区民・地域団体とコミュニケーションを密にし、区民の活動を様々な視点から支援し、地域の課題解決につなげ、協働して地域振興を図る必要があります。
根拠・データ等 ・令和4年度いきいき区民活動支援補助金交付決定実績
・瀬谷区スポーツ協会補助金交付額
<実績>平成30年度400,000円、令和元年度400,000円、令和2年度400,000円、令和3年度447,500円
・瀬谷区在住外国人人口
平成30年度1713人、令和元年度1798人、令和2年度2002人、令和3年度1991人、令和4年度2046人
事業指標 年度 2年度 3年度 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度
地域活動参加状況の参加割合(区民意識調査) ※直近調査結果 令和元年度:7.2%
単位 目標 実績
事業スケジュール 平成22年度：事業開始
平成29年度：生涯学習支援事業、読書との出会い応援事業開始
令和2年度：いきいき区民活動支援事業の拡充(地域人材発掘育成事業開始)
令和3年度：いきいき区民活動支援事業の拡充(区民活動応援事業開始)、国際交流支援事業開始

(単位：千円)

細事業名称 5年度 4年度 差引(増減) 増減説明
① いきいき区民活動支援事業 5,769 6,709 ▲ 940 地域人材発掘・育成事業の分離独立による減
② 地域人材発掘・育成事業 998 0 998 いきいき区民活動支援事業からの分離独立による増
③ 国際交流支援事業 2,191 225 1,966 外国にルーツのある区民意識調査による増
④ 読書との出会い応援事業 835 1,578 ▲ 743 読書スタンプラリー対象範囲見直しによる減
⑤ スポーツ振興事業 711 510 201 新規事業による増
⑥ 地域活動推進事業 2,471 2,123 348 表彰式見直しによる増
⑦ 生き生き区民顕彰事業 226 226 0
⑧ 生涯学習支援事業 0 215 ▲ 215 いきいき区民活動支援事業へ整理統合による減
⑨ 0 0 0
⑩ 0 0 0
細事業合計 13,201 11,586 1,615

課長 松岡 文和 係長 山本 雅子 区民協働推進 係 樋口 雄祐
本資料は、公正・適正に作成しました。

事業区課	瀬谷区	区政推進課		新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	街づくり推進費					
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	1	目
事業名称	瀬谷シティプロモーション事業			政策番号		政策指標	
						前年度事業名称	瀬谷の魅力発信・名所づくり事業
						施策番号	
						施策指標	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和5年度	8,288	0	0	0		8,288
令和4年度	4,903	0	0	0		4,903
増△減	3,385	0	0	0	0	3,385

歳出	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費	2,356	3,188	4,203	8,288	8,288	8,288
市債+一般財源	2,356	3,188	4,203	8,288	8,288	8,288
決算	2,391	2,317	3,933			
市債+一般財源	2,391	2,317	3,933			

事業概要	2027年の国際園芸博覧会の開催などを契機として瀬谷区の知名度を向上させ、区内に人を呼び込み街の活性化を目指します。							
事業開始年度	令和4年度							
根拠法令・方針決裁等	-							
運営方針等との関連	令和4年度瀬谷区運営方針「魅力の創出・区民協働の推進」							
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	<ul style="list-style-type: none"> ・2027年に旧上瀬谷通信施設で開催される国際園芸博覧会について、全ての事業において区民の認知度の向上と開催成功に向けて地域が一体となった機運醸成を図ることで、瀬谷の魅力の世界中の方々に発信する。 ・2005年をピークに区の人口は減少に転じていることから、地域に人を呼ぶことでまちをより活性化させるため、区内外に向けて区の魅力をPRし、来街者及び転入意向者を増加させる。 							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> ・SUUMO住みたい自治体ランキング2022 首都圏版 神奈川県内37位 ・令和3年度市民意識調査 定住意向 73.8% ・令和元年度瀬谷区区民意識調査 国際園芸博覧会開催に向けた市の招致活動の認知度 67.9% ・令和2年度第14回ヨコハマアンケート 市民の国際園芸博覧会開催の認知度 30.1% 							
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
瀬谷への好感度 (各事業アンケート)	単位	目標	75	75	75	80	80	80
	%	実績	70.2					
国際園芸博覧会 への関心度 (各事業アンケート)	単位	目標	50	55	58	61	65	70
	%	実績	25.5					
住みたい自治体 ランキング県内 順位	単位	目標	-	35	33	31	29	27
	位	実績	38	37				
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度 瀬谷の魅力オープンガーデン事業 開始 ・平成30年度 瀬谷のアジサイPR事業(旧アジサイの名所づくり事業) 開始 ・令和2年度 国際園芸博覧会機運醸成事業 開始 ・令和3年度 定住促進に向けた魅力PR事業 本格開始 ・令和4年度～ 国際園芸博覧会機運醸成事業 拡充 ※令和4年度までは、「瀬谷の魅力発信・名所づくり事業」の中で実施							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	① 国際園芸博覧会機運醸成事業	5,255	1,615	3,640	新規取組の実施等による増
② ターゲティング広告事業	1,000	1,500	▲500	取組内容の変更による減	
③ 瀬谷の魅力オープンガーデン事業	1,387	1,148	239	パンフレット印刷数変更等に伴う増	
④ 瀬谷のアジサイPR事業	646	640	6	キャンペーンの景品購入による増	
⑤	0	0	0		
⑥	0	0	0		
⑦	0	0	0		
⑧	0	0	0		
⑨	0	0	0		
⑩	0	0	0		
	細事業合計	8,288	4,903	3,385	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整
	堀内 久一	道原 洋介	岡本 有生

事業区課	瀬谷区	区政推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	街づくり推進費	1	目	枝番号	
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	1
事業名称	瀬谷の魅力発信・愛着実感事業		政策番号		政策指標	
			政策番号		政策指標	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和5年度	4,732	0	0	0		4,732
令和4年度	4,708	0	0	95		4,613
増△減	24	0	0	△95	0	119

歳出	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算 事業費	6,238	3,456	3,152	4,732	4,732	4,732
市債+一般財源	5,263	3,106	2,877	4,732	4,732	4,732
決算 事業費	6,711	4,300	3,465			
市債+一般財源	6,283	4,153	3,388			

事業概要	水・緑豊かな環境や歴史などの“地域資源”を活用した様々な取組により、主に区民に向けて瀬谷の魅力を継続的に発信します。							
事業開始年度	平成23年度							
根拠法令・方針決裁等	—							
運営方針等との関連	令和4年度瀬谷区運営方針「魅力の創出・区民協働の推進」							
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	<ul style="list-style-type: none"> ・区の人口は減少傾向が続いており、将来的にも減少が続くことが推計されている。 ・令和元年度瀬谷区区民意識調査の年齢別定住意向では、20歳未満で「わからない」という回答が、また20～30歳未満で「瀬谷区以外の横浜市内に住みたい」「横浜市以外に住みたい」という回答が全体値との乖離が大きいため若年層の区への愛着、定住意向が低い傾向が読み取れ、今後のさらなる人口流出につながっていく恐れがある。 ・地域資源を活かしながら区民に向けて瀬谷の様々な魅力を伝え、またまちの活性化にもつながるような取組やPRを行うことで、区民に「瀬谷に住んでよかった」「瀬谷に住み続けたい」といった愛着を持ってもらい、定住意向者の増加を目指す。 							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の人口の見通し推計(令和3年度) 瀬谷区 2020年：122,623人、2030年：114,930人、2040年：105,212人 ・令和元年度瀬谷区区民意識調査 <ul style="list-style-type: none"> 年齢別定住意向 20歳未満「わからない」 31.3% (全体 11.7%) 年齢別定住意向 20～30歳未満「瀬谷区以外の横浜市内に住みたい」 20.9% (全体 7.6%) 「横浜市以外に住みたい」 10.5% (全体 4.7%) ・令和3年度市民意識調査 定住意向 73.8% (全体 71.2%) 							
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
瀬谷への好感度 (各事業アンケート)	単位	目標	—	75	75	75	80	80
	%	実績	—	70.2				
市民意識調査 瀬谷区定住意向	単位	目標	70	75	75	80	80	80
	%	実績	72.2	73.8				
	単位	目標						
	%	実績						
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度 イルミネーション事業 開始 ・令和2年度 瀬谷の農PR事業(旧せやマルシェ事業) 開始 ・令和5年度 「瀬谷の魅力発信・名所づくり事業」を「瀬谷シティプロモーション事業」と本事業に分割 							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	①	農の魅力PR事業	760	410	350	マップ印刷等による増
	②	イルミネーション事業	3,316	2,510	806	南口での実施に伴う増
	③	アジサイ周辺の樹木剪定・伐採事業	0	1,000	▲1,000	事業終了に伴う減
	④	瀬谷の歴史・見どころ発信事業	176	308	▲132	由来板の移設完了に伴う委託料の減及びガイドブック販売終了に伴う委託料の減
	⑤	各種ツールによる魅力発信事業	480	480	0	
	⑥		0	0	0	
	⑦		0	0	0	
	⑧		0	0	0	
	⑨		0	0	0	
	⑩		0	0	0	
	細事業合計		4,732	4,708	24	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整
	堀内 久一	道原 洋介	岡本 有生

事業区課	瀬谷区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	地域コミュニティ費	1	目	枝番号	
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	前年度事業名称
事業名称	瀬谷フェスティバル		政策番号		政策指標	
			施策番号		施策指標	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和5年度	7,900	0	0	0		7,900
令和4年度	7,900	0	0	0		7,900
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算	事業費	6,500	6,700	7,900	7,900	7,900	7,900
	市債+一般財源	6,500	6,700	7,900	7,900	7,900	7,900
決算	事業費	6,332	1,479	720			
	市債+一般財源	6,332	1,479	720			

事業概要	区民の連帯感を深め、ふるさと意識の高揚を図るためのイベントとして瀬谷フェスティバルを開催するため、瀬谷フェスティバル実行委員会に補助金を交付します。							
事業開始年度	平成18年度							
根拠法令・方針決裁等	瀬谷フェスティバル実行委員会規約、瀬谷フェスティバル補助金交付要綱							
運営方針等との関連	魅力の創出・区民協働の推進							
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	瀬谷フェスティバルの実施を通じて、瀬谷で暮らすことの幸せを実感していただけるよう、区が進める「幸せが実感できる瀬谷づくり」の定着を図ります。 また、当イベントは、協働により潤い溢れる地域社会を形成するためのツールとして、区民や団体・ボランティア、企業など関係する多くの方々への参画を得て開催します。							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> ・ブース数 令和2、3年度：0、令和元年度：102、平成30年度：110、平成29年度：110 ・フリーマーケット数 令和2、3年度：0、令和元年度：44、平成30年度：49、平成29年度：65 ・協賛企業、事業者数 令和2、3年度：0、令和元年度：44、平成30年度：41、平成29年度：40 ※令和2、3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となりました。また、平成29年度は荒天中止のため、中止決定前の予定数を掲載しています。							
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
来場者数	単位	目標	0	2500	10000	10000	10000	10000
	名	実績	0	0				
出店、出演団体数	単位	目標	0	20	80	40	40	40
	団体	実績	0	0				
	単位	目標						
	実績							
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・平成18年度：事業開始（瀬谷まつりから瀬谷フェスティバルへ名称を変更） ・令和元年度：区制50周年イベントとして実施 							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	① 瀬谷フェスティバル	7,900	7,900	0	
	②	0	0	0	
	③	0	0	0	
	④	0	0	0	
	⑤	0	0	0	
	⑥	0	0	0	
	⑦	0	0	0	
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
細事業合計		7,900	7,900	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動
	松岡 文和	曾宮 幸之助	飯山 遥

事業区課	瀬谷区	地域振興課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価番号	該当なし
予算区分	自主企画事業費	街づくり推進費	1	目	枝番号	
歳出予算科目	一般会計	3	款	2	項	
事業名称	商工業元気アップ事業		政策番号		政策指標	
			前年度事業名称	商工業元気アップ事業		
			施策番号		施策指標	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和5年度	3,837	0	0	0		3,837
令和4年度	3,905	0	0	0		3,905
増△減	△68	0	0	0	0	△68

歳出		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算	事業費	4,267	4,705	3,505	3,967	3,967	3,967
	市債+一般財源	4,267	4,705	3,505	3,967	3,967	3,967
決算	事業費	3,912	2,618	2,198			
	市債+一般財源	3,912	2,618	2,198			

事業概要	区役所が地域と協働して商工業の活性化を図ります。							
事業開始年度	平成22年度							
根拠法令・方針決裁等	商店街元気づくり事業補助金交付要綱、瀬谷の逸品認定要綱							
運営方針等との関連	魅力の創出・区民協働の推進							
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	<p>区役所は、区民個人・団体とコミュニケーションを密にし、協働して地域振興を図る必要があります。そのため、商工業の活動を様々な視点から支援し、課題解決につなげる必要があります。</p> <p>令和2年度の商店街実態調査によると、瀬谷区の商店街の悩みとして「売上・来街者の減少」や「商店街活動を担う人材の不足」が挙げられています。区役所としては、瀬谷区商店街連合会と連携し、売上・来街者の促進につながる事業を展開し、商店街の振興、にぎわい創出に繋げます。また、商店街の人材発掘・育成に対する支援もを行い、地域コミュニティのプラットフォームとしての機能強化を目指します。</p> <p>ものづくり支援として、区内中小製造業者等の取組紹介等を行い、区民への認知度向上を図ります。</p>							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> 市内商店街の悩み【商店街実態調査(令和2年度)】 売上・来街者の減少(36.1%)、魅力ある店舗の不足(25.3%)、商店街活動を担う人材の不足(19.3%) 瀬谷区商店街の悩み【商店街実態調査(令和2年度)】 売上・来街者の減少(50.0%)、魅力ある店舗の不足(33.3%)、商店街活動を担う人材の不足(33.3%) 							
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
瀬谷の逸品リーフレット配布数	単位	目標	2000	2000	2600	2600	2600	2600
	部	実績	2000	2600				
商店街の来街頻度が週1回以上の割合(区民意識調査)	単位	目標	-	-	50	-	55	-
	%	実績	-	-				
補助金交付件数	単位	目標	6	6	6	8	8	8
	件	実績	2	3				
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年度 事業開始(瀬谷の逸品事業、商店街元気づくり事業) 平成26年度 事業開始(ものづくり支援事業) 令和2年度 瀬谷の逸品追加認定 							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	① 瀬谷の逸品事業	1,080	1,080	0	
	② 商店街元気づくり事業	2,387	2,455	▲68	匠の技講座の実施見送りによる減
	③ ものづくり支援事業	370	370	0	
	④	0	0	0	
	⑤	0	0	0	
	⑥	0	0	0	
	⑦	0	0	0	
	⑧	0	0	0	
	⑨	0	0	0	
	⑩	0	0	0	
	細事業合計	3,837	3,905	▲68	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動
	松岡 文和	曾宮 幸之助	飯山 遥

事業区課 瀬谷区 総務課 新規拡充 □ 新規 ■ 拡充 事業評価書番号 該当なし
予算区分 自主企画事業費 区役所総務費
歳出予算科目 一般会計 3 款 2 項 1 目 枝番号 前年度事業名称 窓口サービス向上事業
事業名称 窓口サービス向上事業 政策番号 政策指標 施策番号 施策指標

(単位: 千円)

区分 金額 財源内訳 一般財源等
令和5年度 4,112 国 県 諸収入 市債 一般財源 4,112
令和4年度 3,585 3,585
増△減 527 0 0 0 0 527

歳出 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度
予算 事業費 1,328 1,297 3,014 4,022 3,877 2,652
市債+一般財源 1,328 1,297 3,014 4,022 3,877 2,652
決算 事業費 929 16,081 14,269
市債+一般財源 929 16,081 14,269

事業概要 区役所全体の窓口サービスの向上を目指し、区職員として必要とされる基本的な知識を身につけ、市民の立場に心を配ったおもてなしができる職員を育成します。
事業開始年度 平成25年度
根拠法令・方針決裁等 せやまるサポーター運営要綱 せやまるサポーター功労者感謝状贈呈要綱
運営方針等との関連 瀬谷区運営方針 III 目標達成に向けた組織運営 区民満足度の向上
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)
根拠・データ等
事業指標
事業スケジュール

(単位: 千円)

細事業名称 5年度 4年度 差引(増減) 増減説明
① 職員応対・接遇向上研修 470 470 0
② せやまるサポーター 795 768 27 新メンバー用被服購入による消耗品費の増
③ 庁舎環境整備事業 1,726 2,347 ▲ 621 実績に基づく減
④ デジタル環境整備事業 1,121 0 1,121 新規実施に伴う増
⑤ 0 0 0
⑥ 0 0 0
⑦ 0 0 0
⑧ 0 0 0
⑨ 0 0 0
⑩ 0 0 0
細事業合計 4,112 3,585 527

課長 係長 庶務係
本資料は、公正・適正に作成しました。 森田 伸一 丸山 重夫 永川 弘樹

令和5年度 事業計画書

事業区課 瀬谷区 区政推進課 新規拡充 事業評価番号 該当なし

(単位:千円)

区分 金額 財源内訳 一般財源等

歳出 令和元年度 令和2年度 令和3年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度

事業概要 幅広く区民から信頼される区役所を目指すため、HPやSNS等を含むさまざまな媒体の特性を活かし、区政情報を発信します。

事業開始年度 平成21年度

根拠法令・方針決裁等 インターネット情報発信ガイドライン、瀬谷区マスコットキャラクター「せやまる」のデザイン使用に関する事務取扱要領、瀬谷区マスコットキャラクター「せやまる」着ぐるみ使用要領、瀬谷区「区長とあったかトーク」実施要領、瀬谷区「このはすく提案箱」事業の実施に関する取扱要領

運営方針等との関連 瀬谷区運営方針 III目標達成に向けた組織運営「区民満足度の向上」

①背景・課題の分析 ②事業目的・効果(必要性) 【広報事業】 (1) 区ホームページやSNSによる情報発信・情報提供...

根拠・データ等 【広報事業】 (1) 区ホームページアクセス件数 220,094件、Twitterフォロワー数 1,113件、Instagramフォロワー数1,493件(令和3年度)...

事業指標 年度 2年度 3年度 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度

事業スケジュール 【広報事業】 (1) 区SNS(Twitter、Instagram)の開設:平成30年3月...

(単位:千円)

細事業(事業内訳) 細事業名称 5年度 4年度 差引(増減) 増減説明

本資料は、公正・適正に作成しました。 課長 堀内 久一 係長 網島 武子 広報相談 係 佐藤 充泰